



# 仏法領 ぶつぽうりよう

第92号

発行：真宗大谷派  
念信寺  
〒 824-0202  
福岡県京都郡みやこ町犀川上高屋761  
☎ 0930-42-0329  
Fax 0930-42-0502  
ホームページ  
[nenshinji.org](http://nenshinji.org)

## ふるさと

生まれ育った場所  
移り住んだ場所  
心の拠り所になる場所  
そんな場所を  
「ふるさと」というのだそうか

コロナをきっかけに  
人との関わりや

大切にしてきた  
風習も見直されている

時の流れには  
逆らえないのだろうか

一度、立ち止まって  
ゆっくり、ふるさとについて  
考えてみませんか  
私はどこから来て  
どこへゆくのか

ふるさとに  
いのちを吹き込むのは  
私なのかもしない

(写真・文 大迫光造)



写真は犀川本庄、淨真寺の桜です。今年  
も見事に咲いてくれました。若い女性の投  
稿でテレビ放映されたことがありました。  
よくお寺にお参りしていたおばあちゃんが  
お孫さん（投稿した女性）を連れてきた思い出  
の場所だそうです。

(住職)

今号のテーマですが、「いのちのふるさ  
と」、「ほんとうに帰る場所はどこのだらうか」  
を考えました。

納骨堂を改築するにあたって50年前の記  
録を調べていると、前住職が門信徒の皆さ  
んに納骨堂建設の案内をする文章に、「故郷  
に納骨堂を」という文句がありました。当  
時の田舎を離れた人にとっては、故郷は同  
時にいのちの帰る場所だったのでしょうか。  
今日ではその故郷は単なる育った場所、  
あるいは父祖の居た場所に過ぎなくなつた  
のではないでしょうか。

いのちは何処から来て何処へ行くのか。何  
の為のこの世、人生なのか。前の世代の生  
き方が必ずしもモデルにならなくて、いよ  
いよわからなくなつてゐると思います。  
「いのちのふるさと」は別の言い方をする  
と、「人生の拠りどころ」「帰る場所」「生き  
る意味」と言い換えても良いかも知れませ  
ん。

写真は犀川本庄、淨真寺の桜です。今年  
も見事に咲いてくれました。若い女性の投  
稿でテレビ放映されたことがありました。  
よくお寺にお参りしていたおばあちゃんが  
お孫さん（投稿した女性）を連れてきた思い出  
の場所だそうです。

ご紹介が遅れてしまいましたが、  
今年から上高屋の白石信明さんが新  
総代に就任されました。



白石さんは昭和  
19年5月生まれ、  
永年勝山の自動  
車関係の会社に

勤め、退職して六  
年、本人曰く、これと  
いって趣味はないそうですが、温厚  
な人柄で田んぼを頑張つておられま  
す。

前任の大塚治徳さん、一生懸命に  
勤めていただきありがとうございました。



下と言う異常な状態の中での出来事で  
ある。思うに、国の為とは言え、根底  
には家族を守ると言う事があつたに違  
いない。  
さて、平和な状況下ではどうであろ  
う。

思うに、人生の中で立つ位  
置でも違うのではないだ  
ろうか。若い時は家族を  
守る責任があると言う事  
で、自分の命を疎かにする  
事はできないと思っていた。会社生活  
でも人命第一で、家族の為に自分を守  
れと、安全第一を願い、取り組んでき  
た。

しかし、人生の終盤を迎えた今日で  
はどうであろう。毎朝、夫婦で仏壇、  
神棚に手を合わせる時に思う事は、家  
族（子供、孫達）の無事と幸せに感謝し、  
これからもそうある事をお願いしてい  
る。つまり、自分の命より、家族の命  
の尊さを願う事が一番大切であると思  
つている。

戦時下の異常な時期も、平和な時代  
も、若き日も、老いた日も、命は家族  
の為にあるものであると思う。児童虐  
めの過程で、名前を「準備委員会」とす  
る」ことが提案された。

- 春彼岸法要世話人会（3月25、26日）  
で今後を相談。建設のための委員選出について3プロックから3名ずつ選出し  
てもらえないかと総代より依頼。
- 上高屋地区世話人会4月16日2名選出
- 木井・犀川世話人会4月24日  
相談の結果、2名選出
- 木井谷地区世話人会5月9日  
相談の結果、2名選出
- 犀川谷地区、病人が多く、未選出
- 会議の過程で、名前を「準備委員会」とする」ことが提案された。

## 命について思う事

待、無差別殺人等、人の命が軽んじら  
れている事件が多い。人の命は自分一  
人の為だけでなく、多くの人の命と関  
連している事を思い出したい。

吉田昭和（北九州市小倉北区）

今、ウクライナの戦下に於いて、ウ  
クライナの国民は国を守る為に自発的  
に戦場に赴くと言う。第二次世界大戦  
下の日本でも、多くの人達が國の為に  
命を捧げた。自分の命より、國を守  
ると言う事が優先された。これは戦時  
下と言う異常な状態の中での出来事で  
ある。思うに、国の為とは言え、根底  
には家族を守ると言う事があつたに違  
いない。

5月も終り、今年も半年が過ぎました。  
皆さんはいかがお過ごしでしょうか？  
北海道は気温の揺れ幅が  
大きく、翻弄される日々  
を過ごしています。



念信寺 候補衆徒  
村上 宣

## お参りの日々



さて、念信寺本堂は明治末年に建築され百年  
以上を経て、近年の屋根瓦修理からも50年近く  
が経過しております。そのため各所に傷みや歪  
みが生じ、雨漏りするようになりましたので、  
私が生じ、雨漏りするようになりますので、  
令和元年（2019）に設計事務所に建物調査を依  
頼しました。調査により早急に修理の必要があ  
ることが判明し、門信徒の皆様にご報告申し上  
げました。

折に触れては修理の必要があることをお伝え  
して参りましたが、老朽化の激しい納骨堂建設  
を優先しお陰様で新納骨堂が完成しましたの  
で、昨年末の世話人会議（2022・11/13）で本堂  
屋根について相談させていただきました。その  
世話人会議の結果、現状を報告して本堂屋根に  
ついて検討の場を設けることになりました。何  
とぞ、「理解と協力を賜りますようお願い申  
し上げます。 住職・賛役・総代一同  
以下、井上設計事務所の考察（2019年6月3日）  
を抜粋します。

## 本堂大屋根の現状

念信寺本堂の調査の結果、次のような状況が  
見られた。

- ・重い屋根を支える構造材（梁、桁等）及  
び構造材を支える補強材（束、小屋筋交い  
等）が小さいため各所に亀裂、ずれ、傾き  
が生じている。
- ・構造材（梁、桁等）の仕口が外れている。
- ・小屋組全体が傾いている。
- ・向拝柱も傾いている。

皆さんもどうかお  
元気で。



アパートの車庫  
↑お寺の裏  
雪かきが大変  
木乗はタマネギ畑が広がる

## 念信寺本堂屋根の現状と 今後について

今後について

また、念信寺本堂は明治末年に建築され百年  
以上を経て、近年の屋根瓦修理からも50年近く  
が経過しております。そのため各所に傷みや歪  
みが生じ、雨漏りするようになりますので、  
令和元年（2019）に設計事務所に建物調査を依  
頼しました。調査により早急に修理の必要があ  
ることが判明し、門信徒の皆様にご報告申し上  
げました。

さて、念信寺本堂は明治末年に建築され百年  
以上を経て、近年の屋根瓦修理からも50年近く  
が経過しております。そのため各所に傷みや歪  
みが生じ、雨漏りするようになりますので、  
令和元年（2019）に設計事務所に建物調査を依  
頼しました。調査により早急に修理の必要があ  
ることが判明し、門信徒の皆様にご報告申し上  
げました。

春彼岸法要法話  
おまかせの安心

日時 3月25日、26日 午後1時半より  
講師 北嶋文雄師（筑前町光蓮寺住職）

生死無常

皆様、ようこそお参り下さいました。聖人が亡くなる2年前、88歳の時に書いたお手紙に非常に大事なことをおひしゃっています。

「去年から今年にかけて多くの人が亡くなりました。これは本当に悲しいことでありますね」と。これは当時飢饉、追い討ちをかけるようにして疫病が流行ったんだそうです。

その後に「でも、忘れてならない」とは、人は生まれた以上、必ず死んでいかねばなりません。生まれる「とは死ぬ」とどお釈迦様は教えてくださっています」と続いていくんです。これを「諸行無常」と言います。変わらないものは何一つない。全ての現象はみんな変化していくんだって言っています。

愛する者と別れていかねばならん、生まれた以上死んでいかねばならんといふことに落胆している者たちに対し、現実は諸行無常なんだよ。だから、落胆を乗り越えていきなさいよとおしゃつたのが「諸行無常」の使い方なんです。



3 / 2 5



3 / 2 5

お任せの安心

安心というのには、二つの安心があります。不動心の安心とおまかせの安心というのがあります。

親鸞聖人の教えるおまかせの安心というのは、安心して動搖することができる安心です。これはそう難しいことはありません。親と一緒におる子どもの上に安心して動搖しているという姿はいくらでも見ることができます。

本願寺の子ども奉仕団でユーバーサルジャパンに行つた時のことです。施設のスタッフに連れ



3 / 2 6



浄土真宗という仏教は、死にたくない心はなくなりないまま安心して泣きながら命終わっていくことができる道があるんだ。これが仏様にお任せしていく道なんだと教えてくださったわけです。

仏様は死ぬときにやつてくるんじゃない。今までに我々のところに来てくださつておるわけあります。この仏様はね、私を念佛しようと想える人間に育てあげ、私にナムアミダブツと称えさせて、ここに攝取して捨てない仏がおるとね、向こうの方から知らせよう知らせようと



としてくださいとおる仏様あります。

「ううふうに親鸞聖人が教えてくださった安心というのは、この孤独と不安に怯えている私を決して捨てない仏様がいらっしゃる。このことを聞かされたものはこの仏様の中で安心して動搖し、泣いていく」ことができる。そういう道をいただいていくんだ、というのを教えてくださつたわけですか。

なぜ私を念佛するものに育て上げていったか」というと、攝取して捨てないということを知らせるためであつたわけです。なぜ知らせねばならなかつたかと言うと、独り生まれ独り死ぬと言われるよう、我々がたつた一人だからなんです。人は死ぬが死ぬまでどんな有様になるかわからないです。

なぜ私は念佛するものに育て上げていったか」とは、もうすでに仏様に育てられて仏様の働きの中であつたという

よ。

「念佛しておる」ということは、もうすでに仏様に育てられて仏様の働きの中であつたという」となんです。



摂め取つて捨てない

ナムアミダブツ念佛するものを摂取して捨てない、これが阿弥陀如来の働きなんだつて『觀無量壽經』に出できます。若い頃読んだときに

は、念佛したら摂取されると考えました。お念佛を条件の段じやなかつたんです。



## 皆作・永代経法要ご案内

今年は例年より梅雨入りが早くなりましたが。皆さまいかがお過ごしですか？

さて、皆作法要を左記のように勤めます。今回も距離をとつて座れるように、地区ごとに振り分けしてありますので、できれば表の左下の日にお参りくださるようにお願い致します。当日のご都合が悪い場合はいずれの日でも構いません。

※マスクの着用をお願いします。  
お茶は各自ご持参ください。

合掌

### 記

一、日時 六月十七日（土）、十八日（日）の二日間

一、講師 舟川 智也 先生

行橋市 両徳寺住職



期日	法座	昼席	地区ごとのお参り予定お願い
6月17日（土）	午後1時30分	上本庄・鎧畠・上高屋・下高屋・他地区※	
18日（日）	午後1時30分	伊原・横瀬・上木井・下木井・犬丸・内垣・下本庄・松坂・他地区※	

※他地区とは、豊津・築上・行橋・苅田・田川・北九州等です。

### 口口ナ対策として

- マスクの着用をお願いします。●お茶は各自ご持参ください。
- 法座は2日間午後のみです。
- 出来れば地区指定の日にお参りください。
- 本堂の椅子は余裕をもって配置し、換気を努めます。
- 体調の不安がある場合は「遠慮ください」。

## お寺の催し・活動



4/20女性門徒の会、豊津通善寺



法要にお参りしました！



5/31 読書会

**●春彼岸法要**

三月二十三日（土）・二十四日（日）

北嶋 文雄 師（筑前町 光蓮寺）

（四日市別院輪番・長崎真蓮寺）

## 法座予定 二〇二三年

### ●秋彼岸法要

九月三十日（土）・十月一日（日）

瓜生 崇 師（滋賀・東近江市 玄照寺）

十一月二十～二十三日  
寺本 温 師



6/9臨時組会、真念寺



5/25、門徒会研修、善徳寺



4/11、二十八日講追弔会



法事後、久しぶりお齋



6/4滝部西楽寺前坊守葬儀

## 念信寺のご案内

### 納骨堂

木造耐火建築の美しい納骨堂、  
残り少なくなりました。

一基80万円、原価です。

個別壇は12万円から。

将来的には永代樹木葬に合葬することも可能です。



●永代樹木葬を計画しています。下はイメージ原案1

●法事等、さまざまな理由でお困りの方はご相談下さい。

ズーム、電話でのご法事、お参り、相談ごともお対応しています。

●お寺と付き合ったことがなくて金銭面で心配するという声も聞きます。心配ご無用です。

お寺はできる人ができることをする、寺に居るお坊さんはボランティアみたいなものです。受け継がれてきた仕組みにのつり、お賽錢、お布施の精神でやりましょう。



### あとがき

▼5、6月はやたらとお寺関係、京都組の会議が多かった。しかも主催する方で、年度や任期が替わる時期にあたり、段取りと資料作りに忙殺された。しかも、集中力が続かず、夜はコップを抱えていました。

▼3月30、31日は京都組の団体参拝、総勢146名、無事に京都・東本願寺の慶讃法要に参加できました。一年前から準備しましたが、やり終えて一応責任者としてはホッとしました。みんなの合力の賜です。

念信寺からは5名、浄真寺1名の参加でした。この時代の終わりでしようか。

